# 第48回 子規顕彰全国俳句大会

正岡子規の業績を受け継ぎ俳句の普及を図ろうと、9月23日に子規記念博物館で開催の「第48回子規顕彰全国俳句大会」には、募集句7,363句・当日句316句の応募がありました。その中の特選49句を紹介します。(敬称略)
※●は複数の選者に選ばれた句です

## 募集句

### 稲畑 汀子 選

夫の留守夜長の手足伸ばしけり　松友 道子(松山市)

薔薇暮れてばら色の空残りけり　高橋 和子(香川県)

●芒とは風に見つかりやすき草　池田 純子(岡山県)

み吉野の露降る音につつまれて　湯浅 芙美(徳島県)

雪女返す足跡なかりけり　横田 青天子(今治市)

### 今瀬 剛一 選

●芒とは風に見つかりやすき草　池田 純子(岡山県)

一匹を入れてやうやく蛍籠　田坂 泰宏(埼玉県)

いくつもの橋渡りきて蛍追う　片岡 寿子(松山市)

その上に風の道あり花辛夷　大町 吉良(香川県)

薫風を生み出してゐる大樹かな　西尾 青雨(鳥取県)

### 松岡 潔 選

●一筋の涙が返事火事見舞　岡本 久夫(松山市)

空襲のあの夏の日の母の恋　武智 敏枝(埼玉県)

柿若葉子規旅立ちの像眩し　竹吉 雀村(松山市)

沙羅の花生をあまさず生きて散り　岡田 貞子(西条市)

峡人の寸土大事に田を植うる　中路 郁子(熊本県)

### 小澤 實 選

生涯の子規の伊予弁秋高し　稲岡 幸子(伊予市)

石鎚山は風除けの神野分雲　伊藤 舜(岡山県)

田植機の泥を洗ひて出勤す　河合 寿子(松山市)

豚の子の二の四の五匹うららけし　横谷 光風(神奈川県)

吹き折らるるものをも滝と数へ来し　田坂 紫苑(上島町)

### 高石 幸平 選

●一筋の涙が返事火事見舞　岡本 久夫(松山市)

薔薇園の笑ひ声あるところかな　篠原 みどり(松山市)

溝浚へ大声あげて水通す　妻鳥 弘子(四国中央市)

母の日や在りし日の座にお針箱　石原 童子(山形県)

## 当日句

### 稲畑 汀子 選

兄弟の昼寝風神雷神図　杉岡 壱風(兵庫県)

幸福とこの頃思ふお茶の花　武智 千代(松山市)

爽やかに送り出されしホ句の旅　糸岡 世知子(熊本県)

●みな同じ空を見上ぐる良夜かな　堀本 芳子(新居浜市)

### 阪本 謙二 選

満載の杉の原木空高し　越智 啓子(東温市)

●退任を決めたるよりの爽やかに　三宅 久美子(香川県)

望の夜の浪音たたみきてをりぬ　下岡 順子(今治市)

### 高石 幸平 選

●退任を決めたるよりの爽やかに　三宅 久美子(香川県)

●みな同じ空を見上ぐる良夜かな　堀本 芳子(新居浜市)

病葉や長寿の家系にも戦死　稲井 夏炉(西条市)

### 福谷 俊子 選

●生前も死後も青柿太りゐる　吉岡 君子(松山市)

男鯉ゆらりと返す敗戦忌　大下 絹代(松山市)

臍たてて歩く暑さのまつさかり　芳谷 妙子(松山市)

### 有光 令子 選

漆黒の子規の文机露けしや　熊谷 睦子(熊本県)

殉教の島や小芋の太りゐる　坂本 貞子(松山市)

●生前も死後も青柿太りゐる　吉岡 君子(松山市)

### 上原 白水 選

優しさの嘘と知りつつ秋扇　片岡 寿子(松山市)

縄文も弥生も遠し稲の花　井上 由美子(松山市)

傷つくも癒すも一語花茨　山本 千代香(松山市)

### 高岡 周子 選

海が好き海を見に行く秋日傘　西川 照子(今治市)

子規まつる伊予も根岸も晴れわたり　髙橋 ミナヱ(四国中央市)

坐をつめてまた乾杯の芋煮会　松本 麗子(松山市)

### 玉井 翠陽 選

去り難き母の墓前や秋の蝶　得居 啓子(松山市)

道づれは吾が影ばかり秋遍路　原田 和子(松山市)

更衣重ね重ねて人は生く　片岡 誠子(松山市)

お問い合わせは、㊞子規記念博物館☎931-5566・FAX934-3416へ

# 地域で育つ松山っ子

## 第34回 たちばな小学校

児童数　男293人・女255人・計548人
(平成25年10月1日現在)

## 三世代の絆を深めて

たちばな小学校では、平成23年度から「三世代交流会」を5年生で実施しています。子ども・保護者・高齢者の三世代が一緒に交流活動を行うことで、世代間の違いを乗り越え、絆を深めることが目的です。これは雄郡地区まちづくり協議会やたちばな小学校区の高齢クラブ、PTAの支援・協力のおかげで開催できています。

この交流会は、総合的な学習の時間(環境教育)の一環として位置付けられ、環境に対する意識を高めるような製作活動をしています。平成24年度は、保護者と高齢者の計65人を講師やアドバイザーとして迎え、布切れを使ったコースター作りや毛糸で編むタワシ作り、大根葉といりこを使ったふりかけ作り、牛乳パックを使った鉛筆立て作りなど、6つのコースに分かれて実施しました。

子どもたちは高齢者の知恵や工夫に感心するとともに、環境を守る視点から自分たちの生活を見直すことができたようです。また高齢者からも「孫と遊べた感じがして、とてもいい機会をもらった」と喜びの声が届いており、子どもたちにも高齢者にも、楽しみな交流会になっています。

毛糸のタワシ作り

大根葉といりこを使ったふりかけ作り

### 松山っ子の声

(平成24年度当時)

環境のことを考えた、ものの作り方を教わりました。環境にやさしい生活をしていきたいです。(5年男子)

魚と大根葉、調味料だけでおいしい「ふりかけ」ができました。家でも作って、みんなで食べたいと思いました。(5年女子)